

ビオトープ完成

南部小ビオトープ造成委員会

会長 高橋博

南部小ビオトープ造成委員会の発足から半年、先月十一月八日には「通水式」十一月二十七日に地区

南部小
ビオトープ
造成委員会
H17.12.5

ビオトープ

「この生物は休眠に入りますが、来春春新入生を迎える頃には活躍してくる」と説明

月二十七日に地区民の皆様と共に植栽・仕上げ作業そして「完成式」を行いました。又十一月一日には学校主催による「開園式」が行われ、これまでに協力をいただいた多くの方々、そしてこのビオトープの主役の子供達と共に「ビオトープの開園式」を行いました。

「なる」と思います。今後来春をめぐる管理委員会の立ち上げと、四つのゾーンの間隔スケジュールの計画など

「このビオトープを活用

した学習や活動遊の場所、地域の方々の憩いの場所になるように協力を進めて参りました。と思っています。



四方を巡る山々の高い姿も、つつすいて雪化粧し一段と身動きが縮まる今日、師走の朔日、この良き日に、寒河江市佐藤市長様、若狭教育長様をはじめ、多数の「来賓」にお出でいただきながら、南部小ビオトープ開園式ができました。誠にありがとうございました。感謝申し上げます。

校長式辞

今年五月ビオトープ造成委員会を設立し、半年の間に南部地区民の創意を結集し、数年来の念願でありました南部小ビオトープがこの「開園」できたことは、南部小学校の歴史に大きく足跡を残すと共に、子どもたちの大きな成長と南部地区民同士が交流を深めながら発展を願う気持ちの汗と努力の結晶でもあります。

命の水がこんこんと流れ、緑が燃え、花が咲き誇り、蝶が舞う、いのちあふれんばかりのこのビオトープが学校校前にできあがりました。

「このい場所をお預かりいただきましてありがとうございます。井田君様に心より感謝申し上げます。」

子ども達の地域における自然体験活動の重要性、いのちを育む豊かな自然環境を保持・発展させていくことが必要だと心構えの育成、そして、お生寄り子ども供達も若い人達と世代間が交流できる場所を求めての造成でありました。

「この日の笑顔」の場として、また、「生

きる力」をたくましく育む学習の場としての「ビオトープ」の早い完成を地区民も子供達も待ち望んでいました。

昨日には、遠藤友記さんには「なかよしこみち」と名前を付け、こんなものができるとの分業しにしてみました。

志村元校長先生、川越前々校長先生、高橋前校長先生の方の熱い思いが今ここに完成を見ました。これは、ひとへに子供達と地域のため、貴重な土地を借地提供していただきました。今井様をはじめ、南部地区の創意を見



作成の企
画・立
案作

業計
画

資材提供
井田敬男氏

「努」力へいただきました。造成委員長高橋博様、と造成委員の皆様、そして、南部地区民の熱意の現れです。誠にありがとうございました。

「この」心より援助いただきました。佐藤議員、高橋議員、佐藤議員様方、寒河江市

